



六郷 ろくごう

六郷小学校

H30. 12. 7

No. 28

大盛り上がりの「六笑ミニステージ」

これまで「音楽集会」で、個人やグループの発表を行ってきました。音楽集会なので、発表は歌や合奏が中心となります。学校としては、音楽以外の得意な事を発表できる場を作れればと考えていました。そこで、集会委員会が企画して、音楽以外の事でも発表できる「六笑ミニステージ」を開いてくれました。

プログラムは次の通りです。

- | | |
|------------|------------|
| 1、あやとり | 2、ドリームステップ |
| 3、メロディーチーム | |
| 4、爆笑大笑い | |
| 5、U・S・A | |
| 6、三松音楽集団 | |
| 7、今日から俺 | |



1 あやとり



2 ドリームステップ



3 メロディーチーム



4 爆笑大笑い



5 U・S・A



6 三松音楽集団



7 今日から俺



出演者は1～3年生が多かったのですが、見に来てくれた人はたくさんいて、4年生以上の子ども達もたくさん集ってくれました。それぞれの発表は、練習をしっかりとやってきたと感じるものばかりで、特に5年生のくんのあやとりは、指使いの速さに全員が驚かされました。



自分を表現することの大切さ

全校の前で、自信をもって作文発表することは素晴らしいことです。学校では、できるだけ文を暗記して話せるように指導しています。しかしながら、全校の前で暗記し、さらには大きな声で話すことは、本当に大変なことです。中でも、一番ポイントとなるのが、「緊張感を乗り越える」ことです。それには、何と言っても「度胸」が大事です。その「度胸」は、簡単には身につきません。何度も体験してみて、次第についてくる力です。

そういった点で、今回のような発表の場は、正に度胸をつける最適な場です。実際、今回出演した子ども達に聞くと、「みんなの前に出たら緊張して、思ったように動けなかった。」という子もいました。学校においては、総合的な学びの場が必要だと考えます。学習以外の場を大切にしていきたいと思えます。

第2回「楽しい学校を創る会」開催

地域のいろいろな立場の方々から学校に関して意見をいただく、「楽しい学校を創る会」を開催しました。会に先立って、先日お伝えした、6年生の社会科研究の発表を聞いてもらいました。「楽しい学校を創る会」のメンバーは、商工会や観光協会、地域づくりグループの方々が入っています。そういう方達にとって、今回の社会科研究内容は、きっと喜んでもらえるのではないかと考えて行いました。



この1年間の六郷小学校の取組（学校報）と、この発表について、次の感想をいただきました。

- (出雲・みさぽ一と) ・いろいろな活動を通して「気づく」ことがたくさんあった。
・やりたいことがあり、それを「こうすべき」と考えて実行している。
- (藤原・図書ボラ) ・子ども達はパワーがある。初対面の人にもフレンドリー。
・食べ歩きでお客様と話せたことが自信になっている。
- (森川・PTA会長) ・食べ歩きは抵抗感もあり疲れたが、充実感は大きく、役に立っている。
・街中に積極的に出かけたことで、「自分達で考える」機会が増えた。
- (河西・読み聞かせ) ・小さい頃から町の魅力に気付いたり、行事に参加したりすることは素晴らしい。
- (扇田・CDM) ・町に出での活動をたくさんしてくれて感謝したい。
・子ども達の可能性は無限大である。制限せずにとんどんやらせたい。
- (小西・街中活性化) ・食べ歩きは、小学生の協力なくしては成立しなかった。
・物販をお願いするという課題のある内容であったが、その課題を小学生が越えてくれた。
- (中野・キャリア) ・学校報の写真に町の人がたくさん写っているのが印象的である。
・「町のために」小学生ががんばっている。
- (小西・教育委員会) ・町に出て、本物にふれることで、自己有用感を感じている。
・学校の敷居が低くなり、地域も元気になった。共存の形がすばらしい。
- (工藤・観光協会) ・自分達で考えて行動、観光PR、手作りなど、拍手したくなる。
・わくわく町探検も、自分達で時間やコース設定をされていてすばらしい。
- (岩屋・カマクラ保存会) ・先生方が大変だったのではないかと。他校では不可能である。
・子ども達は立派である。小学生というとらえではなく、町民の一人として扱うべきではないか。
・学校の取組をみて、町民、行政も考え直すべきである。

総合的な学習の時間に、各学年が地域に出かけ、地域の方と様々触れ合ったことを評価してくださっています。手前味噌ですが、ここまで地域と関わった学習を進めている学校はあまりないと思っています。しかも、1年でここまで進むとは思っていませんでした。12月14日（金）10:30~12:00には、商店街の福引きに、5年生がボランティアとしてお手伝いしたり、自分達で作った「商店街手作りパンフレット」をプレゼントしたりして、地域の方と関わることになっています。地域と学校がお互いに手を取り合っていて進んでいます。

九九を楽しく覚えよう!



2年生では、少しでも楽しく「九九」を覚えらえるように、お店屋さんのようにして取り組んでいます。「神経衰弱九九」「すごろく九九」「カルタ九九」「ルーレット九九」など、アイディアは様々です。前回は松組のお店に竹組が訪れ、今回は竹組のお店に松組がやってきました。こうやって遊びながら自然に覚えていくという方法は、本当に素晴らしいと思います。何よりも、子ども達が主体的に取り組んでいる姿が最高です。